

# 産業構造転換期の中小企業向け 向上訓練コース開発(その1)

～"職業転換"の現状分析～

(研究担当者)

開発研究部

戸田勝也

君津技能開発センター

森 鳴 武

## 序 文

公共職業訓練施設における向上訓練は、コース数、受講者数ともに増加傾向を示しているが、これからはその内容を質的に高める段階に入っていると考えられる。

この向上訓練コースの開発に職業転換の問題を織り込めるのではないかとというのが、本研究のアプローチの基本的スタンスである。つまり、職業転換の問題を離職してからの問題と考えるのではなく、在職中のキャリア開発の問題としてとらえようとしているのである。

そのために、転職過程で遭遇する困難点について転職経験者を対象とした面談結果からだけでなく、中小企業の生産現場に踏み込んだ現状分析を行い、それをもとにその地域における企業及び従業員個々人に適合した向上訓練コースを具体的に設定することに最終目標がおかれている。

本報告書は、上述のねらいを持った2年計画の第1年次研究の成果報告である。ここに紹介する事例が職業転換問題の全てをカバーしているとは言えず偏りもあろうが、共同研究施設である君津技能開発センターの置かれている労働市場の現状とそこに設定すべきコースイメージを作成するために必要最小限の事例はカバーされていると見てよいであろう。

御一読いただき、多くの方々のご意見、ご批判を寄せていただければ幸いである。

なお、当研修研究センターは、職業訓練の現場を支える実践的、臨床的な研究を行うべく努めており、訓練現場の訓練指導員さらには企業の人事教育の実務家の協力が不可欠である。本報告書のとりまとめは主として第一開発研究室、戸田勝也室長があたったが研究の方向づけ、コースイメージの抽出については別記研究委員の貴重な助言、指導をいただいた。

この場を借りて厚くお礼申し上げます次第です。

平成2年3月

職業訓練研修研究センター  
所長 志賀武彦

職業転換教育プログラム開発研究会  
研 究 委 員

天 谷 正 ( 帝京技術科学大学教授 )

中 村 章 ( 産業社会研究センター事務局長 )

久 保 徳 次 ( 大宮商工会議所経営指導員 )

森 嶋 武 ( 君津技能開発センター開発援助課長 )

片 岡 博 ( 開発研究部部長 )

戸 田 勝 也 ( 開発研究部第1開発研究室室長 )

北 垣 郁 雄 ( 開発研究部第1開発研究室研究員 )

訓研調査研究報告書 第53号

生産構造転換期の中小企業向け向上訓練コース開発

(その1)

～“職業転換”の現状分析～

発行 1990年3月

発行所 職業訓練研修研究センター

所長 志賀武彦

〒229 神奈川県相模原市相原1960

電話 0427-61-9911 (代)

印刷 (有) 藤本総合印刷

相模原市田名3039-30

電話 0427-62-9501